

プログラム 第11回日本神経病理学会近畿地方会 2015年6月27日(土)

<世話人会> 12:00~12:50 (3階会議室)

<標本展示> 13:00~14:25 (第3実習室)

<口演> 14:25~15:55 (第3実習室)

14:25~14:30

開会の辞: 大阪府済生会中津病院 神経内科 山本 徹先生

セッション1: 座長 伊東 恭子 先生 (京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学)

14:30~15:10

1. 若年発症の近位筋優位のミオパチーの一例

- 1) 京都府立医科大学 神経内科
- 2) 京都府立医科大学 総合医療・医学教育学教室
- 3) 京都府立医科大学 分子病態病理学教室
- 4) 京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科

○篠本真紀子<sup>1)</sup>, 松浦啓<sup>1)</sup>, 櫛村由紀恵<sup>1)</sup>, 辻有希子<sup>1)</sup>, 田中章浩<sup>1)</sup>, 能登祐一<sup>1)</sup>, 尾原知行<sup>1)</sup>, 水野敏樹<sup>1)</sup>, 滋賀健介<sup>2)</sup>, 伊東恭子<sup>3)</sup>, 今井啓輔<sup>4)</sup>

2. VCP 遺伝子変異を認めた封入体ミオパチーの一例

- 1) 独立行政法人 国立病院機構刀根山病院神経内科
- 2) 独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部

○豊岡圭子<sup>1)</sup>, 安井久美子<sup>1)</sup>, 森千晃<sup>1)</sup>, 山寺みさき<sup>1)</sup>, 遠藤卓行<sup>1)</sup>, 井上貴美子<sup>1)</sup>, 西野一三<sup>2)</sup>, 藤村晴俊<sup>1)</sup>, 佐古田三郎<sup>1)</sup>

セッション2: 座長 藤村 晴俊 先生 (国立病院機構刀根山病院 神経内科)

15:10~15:50

3. 演題名 15歳で発症した FUS p.P525L (c. 1574 C>T, hetero) 変異を伴う ALS の一剖検例

- 1) 京都大学医学部附属病院 神経内科
- 2) (現所属) 神戸市立医療センター中央市民病院 神経内科
- 3) (現所属) 八尾徳洲会総合病院
- 4) 辻 医院

○綾木孝<sup>1)</sup>, 引網亮太<sup>1),2)</sup>, 端祐一郎<sup>1)</sup>, 山門穂高<sup>1)</sup>, 辰己新水<sup>1),3)</sup>, 山下博史<sup>1)</sup>, 澤本伸克<sup>1)</sup>, 辻輝之<sup>4)</sup>, 漆谷真<sup>1)</sup>, 高橋良輔<sup>1)</sup>

4. 約30年の経過で汎下垂体機能低下症、緑内障などと白質病変、大脳石灰化を認めた55歳の脳生検例

大阪府済生会中津病院神経内科

○岡田直、山口裕子、尾崎彰彦、山本徹

15:50~15:55

閉会の辞: 京都府立医科大学 研究開発・質管理向上統合センター 伏木 信次